

ちよぼら

みんなで楽しく気軽にちよっとずつのボランティア

vol.41

URL <http://www.tachi-shakyo.or.jp>



「ボランティア・ふくし通り」の横断幕を手作りしました。ステキでしょ!!



01-ドリームまつり

晴天に恵まれたたくさんの方でにぎわいました。

02-ボランティアroom

～身近な“あの人”にちよっとイイ話をインタビュー～
・布絵本づくりボランティア「はりねずみの会」

03-ボランティア連絡協議会のほっこり井戸端サロン

～被災地での活動を聞いて～
・私のボランティア日記

04-トピックス

・ボランティア5団体が厚生労働大臣表彰を受賞
・本郷小学校5年生の見守り隊への感謝状が放送

はりねずみの会 布絵本づくり

こころ豊かに暮らそう

Q. 会を始めたきっかけは？

平成25年度ボランティアセンター主催の「布絵本講座」に参加した有志4人が、縫う事の好きな人に声をかけ、計8人で「はりねずみの会」を発足しました。最初は自分の子どものため、孫のために作ってやりたいとの思いでしたが、図書館にも残せるものということで、みんなでいろいろアイデアを出し合い、今では図書館にもたくさんの布絵本を提供しています。

定例会は、第2・第4火曜日の午前10時より子育て支援センターちゃおで活動しています。その日参加できる人で作業しているので人数は常に流動的です。初めて来られた方も簡単なものなら縫っていただくこともできますよ!!



Q. 活動をして楽しい事は？ また、課題は？

絵本を参考にして材料を揃えるので苦労はありますが、基本の材料にそれぞれが独自のアイデアでアレンジを加え、ひとり一人特徴のある作品に仕上げていきます。作品ができあがった時の満足感が、次の作品づくりに挑戦する原動力にもなります。そして作品ができ上がるごとに腕が上っていくのを、作品を見て感じています。これからも、もっともっと素晴らしい作品を作りたいと思います。

Q. これからの抱負や会員募集

年1回「布絵本講座」を開いて、布絵本をたくさんの人に知ってもらいたいと思っています。門戸はいつも開放しているので興味のある方、縫う事の好きな方はいつでも気楽に参加してください！私たちと一緒にステキな時間を過ごしましょう。



布の絵本にふれてみませんか？

「はりねずみの会」が来年1月のほっこり井戸端サロンで布絵本作りを紹介します。布絵本に興味のある方、お気軽にお越しください。

*日時 平成29年1月28日(土) 午前10時~11時30分

*場所 ぬくもりの館(役場東側)

メンバー募集中!

子どもさんやお孫さんに作ってあげたい方、針仕事が好き
な方、子育て中のママもお子
さんを連れてぜひどうぞ。

ボランティア連絡協議会の ほっこり井戸端サロン

～お茶を飲みながらみんなで楽しく～



テーマ「熊本地震、被災地支援で感じたこと」
被災地での活動を聞いて

田中 美紀



大刀洗町に熊本地震のボランティアに行った方がいると聞き、興味を持って参加しました。発表者は、富多の木村さんと本郷地域作り委員会の白水さん、平田さん、そして社協の池松さんの四人でした。現地では、軽トラックで瓦礫を運んだり、製材所の片付けをしたりしたとの事。「大した事は、出来ないかも知れないけれど、何か出来る事はないか。」という想いからのこの行動に「すごいなあー」と思いました。



車の窓から撮ったという写真を見せてもらうと、四月の地震を思い出しました。発表者は、地図や新聞なども使って説明され、被災地の様子が良く分かりました。震災後、いち早く被災地へ行かれた方が身近にいらっしやった事に、同じ大刀洗町に住む者として、誇らしく思いました。こうした少しずつの善意が集まって、絶望から希望へと気持ちを起こさせてくれるのだと思います。

自分も、もし大刀洗町で何かあった時には、周りの人の気持ちは、前進出来るような行動がとれる人になりたいと思います。

私のボランティア日記

ミニデイに呼んでいただき感謝の気持ちでいっぱいです



夢のちゅういんがむ 山田 富江

三味線の一つ持って、山隈の徳島さんと施設訪問をH17年から始めて、早いもので10年あまりの年月が過ぎました。そして平成19年に社協さんからの声かけでミニデイにも呼んでいただくようになりました。

最初は三味線を聞いていただきたいとの思いでしたが、「楽しかったよ」「よかったよ」の言葉にもっと良いものにしたい、楽しいものにしたいと、踊りもコラボして、稲数の中村先生、高樋の中垣さん、ひよっとこの皆さんにも参加していただき、私も踊ったりしました。また講談をしている幼友達にも声かけをして、語ってもらったりもしました。自分なりにいろいろアイデアを考えて楽しませてもらったミニデイでした。

でも、フッと立ち止まって考えてみると、最初は、三味線を聞いていただいて、皆と一緒に歌えたら楽しいだろうと思ったことを思い出し、私自身も年を

とってゆくのだから、これからは気負わずに、私らしく、ゆっくりと、初心に戻ってまた三味線に力をいれていこうと思いました。

私の場合は、ボランティアというよりも、自分が楽しんだ10年でした。ミニデイでは地域の皆さんに何度も呼んでいただき感謝しています。今は、ミニデイを少しお休みして三味線をもっと練習していきたいと思います。そして、また呼んでいただく機会がありましたら三味線と一緒に訪問したいと思っています。

これからはスローボランティアに切り替えて、ゆっくり、長くを目標にしていきたいと思う今日この頃です。



ボランティア5団体が厚生労働大臣表彰を受賞



受賞団体

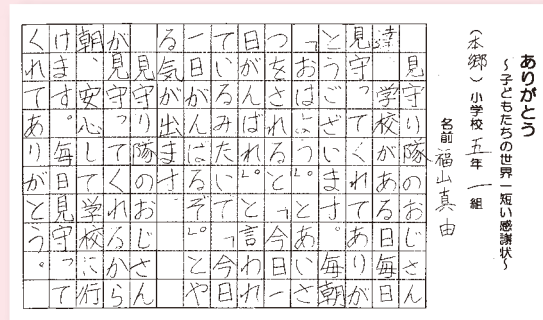
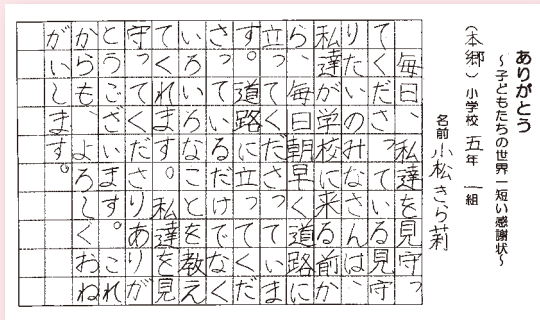
- ・ 青い鳥文庫
- ・ 大堰アンビシャス広場ボランティア
- ・ お話ほっとたいむ
- ・ ナレーションサークル風
- ・ 配食ボランティア青い鳥

この表彰は、福祉分野等のボランティア活動において永年率先して行っているボランティア団体を対象にその功績に対して授与されるもので、11月11日の全国社会福祉大会において、大刀洗町から5団体が受賞しました。

ボランティアを代表して、ナレーションサークル風の福村千代美さんが「私たちの地道な活動が認められたことは大きな喜びです。これからも、私自身が楽しみながら活動を続けていきます」と挨拶されました。

本郷小5年生の見守り隊への感謝状

本郷小学校5年生がRKBラジオ「ありがとう～子どもたちの世界一短い感謝状～」のコーナーに投稿、10月初旬の放送で紹介されました。身近な人へ感謝の気持ちを手紙にした「感謝状」には、「子ども見守り隊」のボランティアに宛てたものもあり、毎日の登下校を見守ってくれている地域の方々への感謝の気持ちが素直に書かれています。



ドリームまつり中学生がボランティアで参加

今年もドリームまつりのボランティア・ふくし通りで大刀洗中学校の生徒がボランティアで参加し、ボランティアブースや福祉団体、図書館・子育て支援センターのイベントで主催者と協力しながら、受付・店舗運営・販売などさまざまな活動を経験しました。

中学生の感想

- ・ いろいろな人とふれあえて楽しかった
- ・ お客さんとの関わり方がわかった
- ・ お客さんの笑顔がよかった
- ・ 障がいを持っている方々と楽しくすごせた
- ・ 来年もこのボランティアをしたい

受け入れた団体からの声

- ・ 自分から積極的に動いてくれて助かった
- ・ お客さんに笑顔で対応していてよかった
- ・ 地域の中学生とふれあえてよかった

スマイル



代表 福村 宮 生
福村 千代美
田 島 孝 三
宮 崎 誠

編集スタッフ募集中!

